

研究課題番号	2-2007
研究課題名	海洋酸性化と貧酸素化の複合影響の総合評価
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研)水産研究・教育機構
研究代表者名	小埜 恒夫

1. 委員の指摘及び提言概要

海水の pH と DO の双方を制御可能な飼育システムを拡充して、さまざまな酸性化・貧酸素環境における 6 種の海産物の生育データと、柏崎、宮古、東京湾における pH と溶存酸素の周年連続観測データを得たことは、地球温暖化における海洋環境において、これらの生物の生活史の変化を予測するために重要である。各ステークホルダーとの調整・対話を通じた沿岸での栄養塩管理が重要な役割を果たしうるといふ、メッセージは明確であり、政策的にも示唆に富む。生態系の環境動態は複雑であり、観測値とモデル値には乖離も見られるので、今後より一層のモデルの精緻化と、検証を続けることを期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A